

刊夕日二十月十

常警日新聞

本報は、昭和六年十月八日創刊。発行所、東京市神田区。電話、八三〇。印刷所、東京市神田区。電話、八三〇。社説、毎日新聞社。編集、毎日新聞社。印刷、毎日新聞社。

日本と吾(上) 市原守馬

大學の首章に人生至高善と
して
大學之道。在明明德。在親民。
と明德と親民を高唱せるは
國家存立の根本義を道破せ
る萬代不易の真理である。
明德を明にするとは吾人の
個々に内在せる道義的精神
を廣高深厚にすることで親
民とは其道義的精神をして
社會を革新することであつ
て國家の生命は斯くして
「恒に造られつゝある國」に
ある所に國家創造の躍々た
る生命が存するのである。
畢竟各個人の人格的生活を
深刻化すると同時に社會的
に之を普遍化することに依
て社會國家を改造進歩せし
むるもので此意味に於て個
人とは集約されたる社會で
あり社會は擴大せられたる

高月會句抄 (三)

漁火の葦間にゆるく秋の川 曉美女
水やせてあきつむれとぶ秋の川 同
八東なす稲田うねりて秋の川 石水
蒼穹高く沈む夕陽や秋の川 同
鑽毒のさらくとして秋の川 天仙
雨晴れて雑魚捕る人や秋の川 同
秋の川徒渉する子のありにけり 閑月
秋の川河骨枯れて莖あらは 同

個人であると云へる。
換言すれば個人は不斷の
『善』の追求者であり其性質
は能動的であり進歩的であ
るが故に一般社會よりも一
段高き道徳精神が常に個人
の魂より創造せられ其社會
的環境に植付けられることに
依て其社會國家の進化の動
因を成すに至るものであつ
て其れに依つて新らしき社
會が具體的に實現されるに
至る。此創造止まざる個人
の魂の欲求する『善』は所謂
三軍の師は奪ふべし匹夫の
志は奪ふべからざる所であ
るの壯烈なる善に至りては
竟に天下の人心を征服せず
ば止まないものである。
これに依て國家は向上しこ
れあるに依て其活力を新に
される。

現に吾人の住む國家社會の
混沌を直視する時に無政府
主義、社會主義、個人主義
等々其他現在國家を否定せ

綴り方

飛行家にならう

鈴木省吾

僕が大きくなつたら飛行
家にならう。
僕が飛行家になつた曉に
は、第一番に太平洋を横断
して、大いに日本帝國の名
をあげ、自分の名をあげる
又世界一週もしたい。

飛行機に乗つて居て、急
に飛行機が燃えたら自分は
少もあはてず落下傘で飛
下りる、もし人家の上で、
もいたならば、自分の体が
もいても、させつしても、
死んでも、飛行機からはな
れずはんだるをとり、人家
のない所に來て初めて飛行
機から飛び下り。人家をもや
さない様に人にさづをおは
せない様にする。
又戦争に出る爲めに色々
の飛行術を覚えなければな
らない、それで何日も飛行
術をならふ。
いざと言ふ時は真先に進
んで敵機を見つけたら早速
ならつた飛行術を用ひて、
若し、敵の人家の上に来た
ら、ばくだんを落しこれを

めちや／＼にして大いに功
を立てる。
だから何日も僕の心の目
には、あの勇しいばく音、
高く煙幕をはいつて進み、
つばさにはあの赤い日の丸
がついて居る日本の飛行機
が何時も／＼あり／＼と浮
んで居る。

學生服

黒小倉長ズボン付

一年生用 八十五錢ヨリ
弊店特製 一圓卅五錢ヨリ

モリタヤ洋品店
電話三五三 平五丁目

井の 商品切手

三
の
商
品
切
手

平三電 三二 八四 番

醫學博士名推獎

胃腸病 婦人病 其他の慢性諸症
肥り度い人の福音 熱くなく痕つ
かす無煙式 誰にも出来る理想的
家庭治療器

志賀齒科醫院

福島縣平町五ノ廿八

福島縣平町白銀町九

產婆 關口 悦子

金拾參圓 藥及特効サツ五週間分付
金拾圓 藥上製桐箱入一揃
(説明書呈)

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平南町 (電話一七〇番)

大和田醫院

正確な時計



お客様本位の……

好適の眼鏡

平一常盤屋時計店

池坊 華道研究会謹告

龍生派 華道教授 正木旭松

毎月第一日曜日を以て平町六丁目會長
宅に於て最も親切丁寧を旨とし活方順
序材料の撰定及出生等の説明をも精し
く差し加へ研究会相催す事に定めまし
た皆々様御暇が御座いましたら御遊び
旁々御出下さい

●研究科目 立華、生花、投入、自然

井坂醫院

平町田町 電話五五九番

門 專
……◆……
花柳病科
……◆……
婦人科
……◆……
産科
……◆……
入院應需

滿洲事變の影響で

木炭界俄然好轉す

需要期に入り注文殺到 品質改良後の聲價揚る

驚くべき出荷數

濱三郡木炭界においては今年や需要期に入つたので連日各方面からの注文が殺到し現在は品不足を告げてゐる状態に

當業者はいづれも轉手古舞を演じてゐるがこの程石城郡内より東京出荷票數の九月末日現在調査により昨年同期との比較をみると

今年 一〇二、三七一
昨年 七三、六五二
(九月末日現在)

といふ數字であるが即ち昨

年よりは東京出荷だけで二萬八千七百二十票の増加を示してあり

尚且つ これを濱三郡

全体を通じ各方面出荷數をみると(九月末日現在)

今	石城	二九一、〇六二
相葉	四五五、一九九	
計	七五〇、二六一	
昨	石城	二三〇、六八三
相葉	一八七、〇一四	
計	四一七、六九七	
年	計	五一一、二八八

となつて總計差額三十一萬三千八百八十八票の驚くべき増加を示してゐるがこれ

は木炭組合が

全力を注いで當つた

炭質改良が成功し需要者間に着々と聲價上りつゝある

際滿洲事變の突發で支那木炭輸入がパツタリ途絶した

爲め各方面において石城木炭の呼聲高く遂に今日の如く注文殺到品不足を告げるやうになつたもので地方木炭事業家はこれを期として

品質の 向上と販路の擴張に努力することに成り

不況時代において獨り好轉

子供の集團意識

あすの運動會に

それがよく判る

クラスの人氣者とは？好

かれる子とは？嫌はれる子

とは？ あすは運動會だから町のバ、ママ、それからおぢいさんやおばあさんが孫のカケツクラをけんぶつに行く、そして愛兒や愛孫が元氣潑潑と頑張つてゐる姿をみて、負けん氣になつて

秋十月の主題には縁遠いが彼等がクラスでどの位人氣者であるかを知るには、あすの運動會がチャンスだ

で、帝大心理學教室の兼子宙先生が之について面白い言つてゐる

聲援する……

×

近所だから仲よいといふ封建制度時代の意識はこの町あたりではまだ多分に残つてゐるやうだ

×

クラスに憎悪關係があるのは女子に多い、意地悪だ威張る、直ぐ怒る、しつゝ

の傾向にある石城木炭界にとつて最も喜ぶべき事である

眞綿講習修得證

石城養蠶同業組合では既報の如く本月十五日より平支部員の眞綿講習會を平陽女學校に開催中であつたが本日無事全講習會を終了した

ので午後一時より左の諸氏へ修得證が授與された

- 大竹サク子 青木義子
- 矢田部政子 伊藤ミナ子
- 田卷ナヲ 三瓶イク 吉田ソノ 鈴木サク 若松アサ 菅野アイ 酒井文子 橋本ハナヨ 鈴木シゲ 海老原カツエ 新妻トミ子 瀧クニ

惜しまれる

磐城馬の生産減少

山間部地方の各農家 飼育費に困つてか

毎年一千余頭の産馬ある石城郡山間部地方の農家では財界の不況を蒙り經財的事情を

考慮した 關係上今年

は比較的産馬數少なく漸やく六、七百頭に過ぎないが目下生後五六ヶ月を経過し發育も良好なので石郡産馬畜産組合では之が飼育上の

こい、亂暴だ、悪口屋、皮肉屋、陰口屋、人の顔をみると變な顔をする等が主な原因だが、あまり美貌でも嫉妬される、男の子は比較的淡白だからクラスに一人か二人の人氣者があれば人氣者同志で密接な關係を作り其處がクラスの中心となつてクラスの氣風を作り

クラス全体を導いてゆく發源地帯となる、子供の世界にあるこれらの集團意識があすの運動會には、總てよく現はれるのだ

競技精神に歸れ

(第二回磐陽野球大會) (二) における紛争を觀て

平町 一フアン

諸注意を發し例年一割以上の死亡率を三分程度にて止

運動競技はプレーヤーの性情を如實に曝露するものであり、直接プレーヤーの行動が目の前に展開されると共にプレーヤーの心情も發表される、唯だ單なる勝利のみ眼中に置かないで、寧ろ競技運動を高い理想的見地から競技の精神を組織する事は道徳の發達に非常に重要なものであると思ふ、スポーツマンは道徳的社會的の基礎を自己の胸裡に描きス

ポーツマンシップの養成に向つて進む事を忘れてはならない、身体的技能に捉はれる事なくして精神的道徳的實行に務め品性の訓練に資する最も重大なるもの

を忘れてはならない、寧ろ自己の修練された身体的技能は、正當且つ堂々たる立場に於て發揮するの態度がなければならぬと思ふ、對磐中戦、對平商戦に於て度々見せた某チーム某プレーヤーの態度は全くスポーツマンと稱すべき者の態度ではない。

フアンは訓練の出來て居ないのは勿論なるも、此の彌次に對して一々挑戰的態度を取り、甚だしき時は相手方チームプレーヤーの彌次とでも誤審してかプレーヤーを威かくするが如きは實に驚き入つて了つた、(終)

如きは野盜が大刀を疊に差して對談すると何等變る所がない、若しあの時自己チームが負けても居たなら撲り付けたかも知れない、氣の弱いものはとても試合に望む事は出來ない、平商對某チームの試合終了後、平商プレーヤーの父兄が其の監督教師に對して今後かゝる野人的チームとの試合に出場するなら絶体に子供を出場せしめないと話して居つた、純眞なプレーヤーたる學生の素質を惡化せしむる原因だからだ、プレーヤーの父兄に注意されるまでもなく、斯くの如きチームの出場する大會には斷然學生チームは參加すべきではない、總ての競技はフェアプレーでなければならぬ、石城野球後援會創立の目的が奈邊に在るか知らぬども單に磐陽球界の盛大を庶幾ふ以外に斯る点にまで着目し其の指導に任すべきではないかそして審判者はモット權威あらしめて今回の如き紛争の原因を造らせしめない事だ、又今回平鐵チーム不参加の原因と前述の如き点を靜かに考慮する事がかつたなら、やがて此の磐陽野球大會も滅亡する時が來るだらう、只實業チームたる他の諸チームが實に堂々たるに反し某チームのみあのプレーヤーは實に遺憾至極だつた。來廿四日の決勝戦こそ試合そのものと共に其のプレーヤーは實に實に吾等フアンは興味を持つて待つものである (終)

一日千秋の思ひに 大會の日は迫りくる

郡下模型飛行機競技會

本社後援いづみや玩具店及三幸堂樂器店主催の第二回郡下模型飛行機競技大會は愈々残すところあと三日、来る廿五日の日曜には磐城中學校グラウンドの廣い競技場にて

華々しき空の競技が

展開されるため飛行ファンは一日千秋の思ひで當日の盛觀を待ち焦らされてゐるが一方之が參加者は連日無風の朝風夕風時を選んで近郊の廣場に近代感賞の色彩美に富んだ模型機を大小

とり／＼持ち寄つて互に試験飛行を繰返して行人の足を止めてゐるが前回における滞空記録は僅か二十五秒であつたが今回は既に

一分に達してゐるの

は相當にあるらしく一分二十秒まで出せると意氣込んでゐるのもあつて隠れたる優秀機は續々と好記録を出してゐるため今回の競技においてには全く胸のすくやうな痛快なる場面が展げるものと非常な興味裡に大會の日は刻々と迫つて来る

磐炭對入山

二十四日決勝戦

磐中球場において

磐陽野球協會主催朝日新聞社後援の第二回野球大會は去る十七日より開始され各チーム共力奮闘し好ゲーム續出したが準決勝に於いて平商一点の差で入山チームに惜敗し、また平遞友も

野球部の決勝戦は磐中グラウンドに於いて行はれる事となつたので磐陽野球ファンは今から其熱戦を期待して居ると

佐藤前教諭

あす歸郷

十年余勤績

今回磐城高等女學校を退いた佐藤清氏は明廿三日午前八時三十分平驛發列車にて

郷里相馬へ歸ることになつたが同氏は十年餘勤績して一般父兄や生徒から慈父の如く敬慕され今回の辭職も非常に惜まれてゐる

茨城縣人會

明晩大貞に

既報平町茨城縣人會は明二十三日午後五時から平町町大貞に開かれるが會費は二圓盛會を豫想される

川崎本社社長講演

昨報今二十二日午前十時より開かれた飯野村北白土婦人會は盛會を極めたが午後一時から川崎本社社長の講演があつた

巨豪チームの

參加四十に達す

秋の唯一のテニス大會

愈々廿五日高月臺にて

既報—来る廿五日磐中高月臺にて開かれる平町魁文堂主催の宮城茨城福島三縣聯合庭球大會は愈々余すところ三日となつたので參加チームは連日

猛練習 であるが申込

チームは全部で四十、茨城縣からは日立、水戸の兩クラブ猛者連が八組、宮城からは仙鐵チーム二で加之地元チームの錚々たる所が續々と並べての出場に當日は熱球亂れ飛ぶ盛觀を呈するであらうと秋の唯一のテニス大會でもあるので各方面から早くも

戀を見失つた男

今浦島紋次郎

これは何と奇抜な話

石城郡赤井村大字赤井七二生れ豊太郎次男大畑紋次郎(三)は本年五月頃豫てより二世を交した戀仲の同村八十彌次女鈴木ミヨ(三)と手に手をとつて

東京で 働かうと相談

し五月廿日兩人は意氣昂然

明日のラジオ
廿三日
仙臺放送局

今晚も明日も北
西の風天氣よし
「昨會重四郎」第一席
木友重友
後九、四〇 時報 全國ニ
ユース 氣象通報 番組
豫告 生齒相場
明日の部
前九、一〇 料理献立「柚子釜芋」
前一〇、三〇 家庭講座
「和服裁縫のきめどころ」
後八、〇〇 吹奏樂 歌劇
「詩人と農夫」外 大阪ブ

今晚の部
後六、〇〇 獨唱 伴奏戸田いと子其他
後六、三〇 英語講座「中等科」(第三講の五) 勝侯詮吉郎
後七、三〇 長唱「有喜浮大盡」吉住小三郎外
後八、〇〇 連續講演「秋の天体」山本一清
後八、三〇 マンドリン合奏「謝肉祭」オルケストラ
シムフォニカ、タケイ
後九、〇〇 連續浪花節

平署員が檢視した結果死亡したのは本月上旬らしく人跡遠い場所の事として其儘となつてゐたがその近所に住居する乞食と判明所持品は學生カバンと白米五合一錢銅貨一枚あるのみで腐敗激しくして其他は一切不明同人は行倒れると同時に口の中に白米を入れ噛み潰して露命を保ち乍ら救助を待つて居たらしいと

野宿した際隣合した

男が福島市陣場町二〇七生れ住所不定後藤秋夫(三)で同じ福島人である所から斷然意氣投合し「そも／＼かゝの如き失業苦は……」てな調子で互に激勵就職を見限つて田舎に歸ることにしたが氣になるのは例のおミヨさん、どこにどうしてゐるのやらで仕方なく、歸郷し秋の刈取時の手傳をするつもりで東京から遙々奥州下り徒歩旅行でやつてきたがアラ、

一冊の代金で

御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡 回文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

慰藉料請求

平町才穂小路踏切通行中下り列車に轢殺された石城郡平窪村松本清作の遺族が鐵道省を相手取つた慰藉料請求訴訟の公判は明二十三日平支部庭にて開かれる

カメラ競寫會

前いづみや玩具店では来る十一月一日紅葉の川前方面で小型カメラ競寫會を開く管で目下會員募集中

小説



七の七日 (六十六)

渡邊 默禪 作
布施平八郎 畫

【載轉禁】

櫻散る夜 (10)

「む、かんざしだね……彼女のかしら……」
月に反射してきら／＼する金脚を見詰めた時に、源之助はすぐと、然う直覺せずにはおられなかつた、何故なら此の俱樂部には澤山の女が集まつてゐるけれど、こんな物を頭に差してゐるやうな日本式の婦人はひとりも居ないからである。
「あ、ぢや、あの時に此處へ落こしたんだな、落こしたのを知らず歸つていつたんだ。氣の毒なことをしたなア、ぢやあ確かに歌治はもう歸つたに相違がないが兎に角にもこのカンザシだけは自分の手で大切に保存して置いてやらうと大急ぎでかくしに仕舞つてしまつた。が扱てさう思ふ下から先刻自分に突飛ばされて菩提樹の木蔭に轉がつた歌治の姿が幻のやうにあり／＼と眼先に浮いて出た、邪慳な自分の拳にたゝかれながらも、柔順にその体を打まかせて、解けかゝつた黒髪の下は傷いた羊のやうに伏しまろびながら、歸つてください戻つてくださいと泣き叫んだその聲はまだ

耳に残つてゐる。
「歸つて下さい、……然うだ、俺を迎ひにやつて来たのだ、迎ひに来たのは此度彼女の親切な情け厚い心から家のことを心配してくれた爲か但しは俺が此處に居うしてゐるのを聞いて、嫉妬に驅られた爲なのか。そ

とをしたものだ。あゝ急がしい身体を態々都合して遇ひに来たのに、今の俺は彼の女に對して少しの愛も感じてゐないにもせよ、その優らしい真心は買つてやらねばならぬ。感謝しなけりやならぬ筈だ。それなのに嬉しいその真心に報いるに拳を以てしたといふことは自分乍ら狂人染た沙汰であつた。あゝ彼の女はどんなに自分を怨んでゐるだらう、實際濟まなかつた、酒のためとは云ひ俺は取返しつかぬ失敗をしたがこれも一時の酔のため今となつては自分の身を責めるより



れはよく今俺には判らないけれど、どつちにしても彼女はまた俺を愛してゐるのだ、愛して居なければこそ斯うして態々遙々と暇と費して來て呉れる譯はない。どちらにしても誠に俺は彼女に此上もない氣の毒なこ

外に術はないのである、あゝ、歌治許して呉れ、俺は濟まなかつた、決して好んで拳をあげたのではない、自分で自分の意識を忘却したのだ、決して忘れはせぬぞ、お前のその親切とあの時の言葉は俺の心底を

去らない、どうか許してくれ、怨まないで呉れ、濟まなかつた濟まなかつた』
と考へるといぢらしいやうな感じと共に一種の懐かしさを覚えて、手にしたカンザシを我知らず鼻のところに持つて來てかぐともなぐその香を嗅いだ、髪か油か分らないが深く沁み込んだ異性の移り香は鋭く彼の鼻神経をそゝり立てた、それは嘗て花の宵、雪の晨四疊半の青い灯かげに艶かしい色をかき亂した長襦袢の裏から洩れる皮膚の匂、樂み鍋の湯氣のあなたににっこりと笑つた白い顔のその襟もとから流れて來る黒髪ほめき、即ちそれであつた、歌治、歌治、その物の語りぐさ忘れ得られぬあの時の氣分がむら／＼と燃え立つて來た

毛糸と編物用具
全部新色 二。一。三
入荷致しました
相變らず御用命の程……
平田町 ハシモトヤ 糸店

航空思想普及
第二回 郡下模型飛行機競技大會開催
一、時日：來る二十五日(日曜日)午前九時より煙火合圖
一、會場：磐中グラウンド
參加者は開催前日迄に兩主催店へ御申込の上參加券を御請求願
ます。尙詳細は主催店に御問合せを
主催 いづみや玩具店
三幸堂樂器店
常磐毎日新聞社
後援 東京ダイヤモンド模型飛行機研究會

縣教育會石城部會
圖畫科講習會
時日 十月廿八日(水)午前九時より
同 廿九日(木) 貳日間 午後三時まで
會場 平第一尋常高等小學校
講師 文部省囑託 石野隆氏
會費 不要

藤沼醫院
平町紺屋町
電話五〇七番

展覽會陳列目錄
一、現代大衆作品
野尻湖
子供
南イタリーの風景
殘雪夕照
下落合風景
高浦
七面鳥
齋藤
讀書
人形の首
日本一の大鳥居
庭
靜物
其他 三十点
二、世界十三ヶ國代表兒童畫
三、全國優秀兒童畫
二〇〇点
二〇〇点

うなぎ料理
いよいよ鰻のシーズン……
御用命はゼヒ江戸川へ
江戶川
平館前通り 鰻料理専門
(電話六七七番)

看護婦急派の求めに應じます
平町南町 平看護婦會
電話三〇七番
セメント 壁用材料
コールタール
ペンキ塗料
板ガラス
警城セメント株式會社
西村屋藥舗
代理店
平町二丁目 電話三